令和４年度　　（仙台市立鶴谷特別支援）学校の研究概要　～令和５年１月末現在～

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　運営委員氏名（主幹教諭　早坂敬也　）

|  |  |
| --- | --- |
| 研究テーマ（２年計画１年目） | 「自分から学ぶ児童生徒を育てる授業づくり」―「各教科等を合わせた指導」の授業研究を通してー |
| 研究目標 | ＜1年次の目標＞「各教科等を合わせた指導」(日常生活の指導，遊びの指導，生活単元学習，作業学習)の授業づくりの基本を確かめ，自分から学ぶ姿の明確な設定や環境づくりの視点を基に，授業づくりを行うことで，自分から学ぶ児童生徒を育てる。＜2年次の目標＞（案）1年目の各ワーキンググループでの研究の成果を学部や課程内で共有し，学部や課程ごとに選択した指導の形態において，視点に基づいた授業づくりに取り組むことで，自分から学ぶ児童生徒を育てる。 |
| 研究内容・方法研究計画等 | 研究内容・計画（1年次：令和４年度）１　「各教科等を合わせた指導」「環境づくりの視点」勉強会２　提案授業の視聴，検討会３　「各教科等を合わせた指導」における，自分から学ぶ姿を育てる授業研究４　ワーキンググループ(WG)ごとの事前，事後検討会５　「自分から学ぶ工夫」の事例シート作成，報告会６　Google Formsを使った研究日アンケートの実施７　研究部通信による情報発信（２年次：令和５年度）（案）・新転任者研修における令和4年度研究報告，授業づくり勉強会・学部で選択した「各教科等を合わせた指導」における，自分から学ぶ姿を育てる授業づくり(授業づくり訪問含む)・学部内WGごとの事前，事後検討会・「自分から学ぶ工夫」の事例シート作成，整理，報告会・次年度研究の検討・Google Formsを使った研究日アンケートの実施・研究部通信による情報発信 |
| 研究の概要　・研究経過　・研究成果等 | （研究成果）・検討会等での学びを生かして一人一事例で取り組んだことによって，教職員一人一人のスキルの向上が見られた。・少人数によるワーキンググループを編成し，授業を検討することで，意見が言いやすく，より深く学び合いができた。・児童生徒自分から学ぶための環境づくりや教材教具を工夫することで，児童生徒の意欲を引き出すことができた。・児童生徒が自分から学ぶことを，教職員が強く意識して研究を重ねたことで教職員が過干渉等しなくなり，児童生徒がより自主的に考えて学習したり行動したりする場面が増えた。 |

※本様式内で簡潔にまとめてください。なお，項目名や枠の大きさは任意に変更していただいて結構です。